

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-11-01

No. 136



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 32: 1 GHz 超放射妨害波許容値と測定法修正の妥当性について(1/2).....	3
IEC: 新規格リスト.....	6
ISO: 新規格リスト.....	7
UNECE: 国連車両規制第 160 号: 衝突に関する情報を収集する「ブラックボックス」.....	8
国際テーマ: カナダで IT 機器の新版規格が発行 (ICES-003, 第 7 版).....	9
国際テーマ: ユーラシア: 電気機器のエネルギー効率に関する EAEU 規則の状況.....	10
国際テーマ: シリアにおける通信機器の新しい規制.....	10
国際テーマ: サウジアラビア SACO: 強制認証の範囲を拡大.....	11
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	11

USA: FCC: Part 47 : KDB : TCB による機器認可証明書への事前承認ガイダンス.....	12
USA: FCC: モノのインターネット (IoT) のスペクトラム要求事項: 情報請求通知.....	12
USA: CPSC: 過去 4 年間で e スクーター、e バイク、ホバーボードによる怪我が 70%増加.....	13
USA: FDA: 医療機器 510(k)申請のための電子提出テンプレート.....	13
USA: FDA: 人口知能及び機械学習 (AI/ML) 対応医療機器.....	14
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	15
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	15
USA: IEEE: 新規格リスト.....	16
カナダ: RSS-222 - ホワイトスペース機器 (WSD) Issue 3 が発行.....	17

EU: 消費者の不満と電気電子機器廃棄物を解決: 欧州委員会が電子機器の充電器を共通化.....	19
EU: 機械指令整合規格: レーザ加工機械に関する規格など 24 件が追加.....	20
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	20
EU: ETSI: 新規格リスト.....	25

中国: SAMR: 北斗衛星測位システムの基本製品認証目録 (第一次) と認証規則を公布.....	26
中国: SRRC: 2400MHz、5100MHz、および 5800MHz 周波数帯の無線管理の強化と規制.....	26
中国: CQC: 英国への製品輸出のための UKCA 認証を実施.....	29
中国: 新規格リスト.....	29
台湾: 「正字マーク管理規則」の改正予告通知.....	35
台湾: 新規格リスト.....	36
韓国: RRA: 高出力・漏れ電磁波安全性評価基準及び方法等に関する告示一部改正 (案).....	36
韓国: RRA: 簡易無線局宇宙局地球局の無線設備及び電波検出用無線設備などの技術基準.....	37
韓国: RRA: 電気通信事業用無線設備の技術基準: 建物等内 5G 移動通信用無線局の構築.....	37
韓国: RRA: 放送通信機材等の適合性評価に関する告示.....	38
韓国: KATS: 電気用品および生活用品安全管理運用要領一部改正 (案) 行政予告.....	39

総務省: 2.3 GHz 帯周波数における移動通信システムの導入のための制度整備.....	40
総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第 159 回): CISPR 国際会議対処方針等.....	40
総務省: 令和 3 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (第 1 次).....	41
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2021 年 10 月分).....	42
経済産業省: 次世代型太陽電池の開発プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画.....	42
経済産業省: 洋上風力発電の低コスト化プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画.....	43
経済産業省: ドローン用の地理空間情報に関する国際標準が発行されました.....	43
国土交通省: 自動車安全性能 2021 結果公表: ファイブスター賞等.....	44

ちょっといっぽく〜クイズコーナー スマートフォン、タブレット等の充電ポート規格.....	11
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	18
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: CISPR 32: 1 GHz 超放射妨害波許容値と測定法修正の妥当性について(1/2)

- CISPR32 第2版の修正1が2019年10月に発行された。この中には第2版から大きく修正された項目が多く含まれ、「1 GHz 超妨害波測定に1 m～4 m のアンテナハイトスキャンを適用し、合わせて1 GHz～3 GHz の許容値を4 dB 緩和」もその一つである。
- 第2版修正1に対する最終投票では、日本を含め5か国が反対投票を行った経過があった。又、CISPR 運営委員会より1 GHz 超の周波数における放射エミッションの要求事項の修正について、その妥当性を明確にすることが求められたため、担当したプロジェクトリーダーによりこの修正の妥当性を説明するDC文書（コメント用文書）が発行された。その後、DC文書に対するコメントを基に、この修正を妥当化する文書としてINF（情報文書）が発行された。ここではその内容を、解説する。

UNECE: 国連車両規制第160号: 衝突に関する情報を収集する「ブラックボックス」

- 2021年9月30日に発効した新しい国連規制第160号は、車両に搭載されたイベントデータレコーダー(EDR)の導入により、交通事故に関する情報収集に大きな進歩をもたらすものである。
- 航空で使用される「ブラックボックス」にある程度匹敵するイベントデータレコーダーの必須装備により、衝突や負傷が発生する状況がよりよく理解できるようになる

USA: FCC: Part 47 : KDB : TCB による機器認可証明書への事前承認ガイダンス

- 本ガイダンスでは、通信機器認証機関（TCB）が機器認可証明書を発行する前にFCCのガイダンスを受ける必要のあるデバイスのリスト、及び、このガイダンスを受けるための手続きが紹介されている。
- 今回、ガイダンスを手続き文書である「388624 D02 事前承認ガイダンス一覧 v17r04」に変更があった。

USA: FDA: 人口知能及び機械学習（AI/ML）対応医療機器

- 近年、機械学習 ML 機能を組み込んだ医療機器への関心が高まっている。
- FDA は、米国で販売されている AI/ML 対応医療機器の初期リストを、これらの機器とFDAのこの分野における取り組みについての一般向けのリソースとして、提供している。

EU: 消費者の不満と電気電子機器廃棄物を解決：欧州委員会が電子機器の充電器を共通化

- 改正無線機器指令に関する本日の提案により、充電ポートと急速充電技術が整合化される。すなわち、USB-C がすべてのスマホ、タブレット、カメラ、ヘッドホン、ポータブルスピーカー、手持型ビデオゲームコンソールの標準ポートとなる。

EU: 機械指令整合規格: レーザ加工機械に関する規格など 24 件が追加

中国: SRRC: 2400 MHz、5100 MHz、および 5800 MHz 周波数帯の無線管理の強化と規制

- 中国工業情報化部は、2400 MHz 帯、5100 MHz 帯、及び 5800 MHz 帯の無線管理の関連事項の通知（工信部无〔2021〕129号）についての解釈を発表した。
- 《通知》には14項目の箇条と2つの別紙がある。元の規定は、主に管理方針と技術要件の面で改訂されている。

社長の独り言

2021 年 10 月 12 日

濱口 慶一

やっと新型コロナウイルスの感染拡大も治まりそうな状況になってきました。弊社は社員の努力とお客様のご協力により、これまでに一人の感染者も出すことなく現在に至っています。しかしながら、政府の指導に従い、当面の間、社員はマスクの着用と検温の実施を継続します。弊社に訪問されるお客様におかれましても、マスクの着用と検温の実施にご協力を宜しくお願い申し上げます。なんとかして新型コロナを退散させたいですね。

今回も長岡技術科学大学のシステム安全工学専攻の修士課程の話になります。システム安全工学だけではなく、技術者倫理学、企業コンプライアンス、技術経営論、法工学などの講義もあります。私は約 40 年間、これらについては私にはあまり関係ないと思っていましたが、講義を受けるとそれが間違いであったことに気づきました。直近で受けた法工学では、組織におけるヒューマンエラーや組織構成、安全目標の設定など、聞くことすべてがとても印象的です。コスモスの社是、コスモスはどういうスタンスで存在しなければならないか？など経営責任者として悶々としていたところを教授の授業でお話を聞くだけで、あれもこれも直さなければという気持ちが湧いてきました。

講義で東日本大震災後の民事での損害賠償訴訟の事例が取り上げられました。裁判所の判決文を読みながら、個人の倫理観や都合、社長や上司の指示、会社のマニュアルのルーチン化された内容などにより瞬間的な判断を間違ったケースが多いこと、いかなる時も人の安心安全を配慮した方向で即時に判断して指示を出すことが求められることを教わりました。

製品安全の世界に身を置くなら、社長や上司の指示だから、後で苦情が来るから、費用が要求されるからなどと心中で格闘せずに、対象者とその関係者のさらなる安全安心に配慮した決断が求められるということを潜在意識まで焼き付ける必要があると確信しました。

もう一つ事例を紹介します。2016 年の熊本地震の後、地震で緩んだ屋根などの修理依頼が地元の工務店に舞い込んできたのですが、余震が続く間は建物に近づかないようにと国や県から指導されていました。その工務店の社長さんは、従業員の安全が確保できない状況では業務を受けないと社内通達するとともに、お客様にも緩んだ屋根に登って修理をすることは家屋の倒壊などを引き起こし、かえって地震の災害を大きくすることになるからと、修理を急ぐお客様の要望をお断りしたようです。お客様の中には激怒した人もいたようですが、行政側から危険解除通達が出たらすぐに無料で応急処置に向かえとその社長さんは指示したようです。当然、現場での安全に細心の注意を払えと的確に指示をしたようです。私もこの社長さんのような判断が出せる経営責任者になるため、勉強を続けていきたいと強く思っています。

皆さんに質問です。“スイスチーズモデル”をご存じですか？私は先生に教えられるまで、見たこと聞いたこともありませんでした。このチーズモデルを参考にしてコスモスの組織、責任者を見てみたいと考えています。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-11-01 (No. 136)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。